

令和 4 年 8 月の解説（週間天気予報）

【8 月の天候状況】

上旬は、北日本では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多く、北日本日本海側と北日本太平洋側の降水量はかなり多くなりました。東日本では、旬の中頃は前線や湿った空気の影響で曇りや雨となりましたが、旬のはじめと終わりは太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。3 日から 4 日にかけては青森県、秋田県、山形県、新潟県、福井県で線状降水帯が発生するなど、記録的な大雨となった所がありました。一方、西日本と沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、沖縄・奄美の日照時間はかなり多くなりました。気温は、西日本を中心に暖かい空気に覆われやすく、晴れて気温が平年を上回った日が多かったため、西日本の平均気温はかなり高くなりました。

中旬は、北日本、東日本、西日本では、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多く、各地で大雨となりました。また、13 日は伊豆半島に上陸した台風第 8 号の影響で東日本太平洋側を中心にまとまった雨が降りました。このため、降水量は北・東・西日本日本海側と北・東日本太平洋側でかなり多く、平年比は北日本日本海側で 249%、東日本日本海側で 347%となり、それぞれ統計開始以降、8 月中旬として 1 位の多雨となりました。一方、沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、また、暖かい空気に覆われやすかったため、平均気温はかなり高くなりました。

下旬は、北日本では、天気は数日の周期で変化しましたが移動性高気圧に覆われた日が多かったため、北日本日本海側は降水量が少なくなりました。東日本と西日本では、旬の前半は低気圧や暖かく湿った空気の影響を受けて大雨となった所がありました。旬の後半は、動きの遅い前線の影響などで、東日本では曇りや雨の日が多い一方、西日本では移動性高気圧に覆われて晴れた所が多くなりました。沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われて、晴れて気温が高い日が多かったため、平均気温がかなり高く、平年差は+1.4℃となり、統計開始以降、8 月下旬として 1 位の高温となりました。

【8 月の検証結果】

「降水の有無」の全国平均の適中率(3～7 日目平均)は、例年値(注)よりも 1 ポイント高い 67%でした。地方別の適中率では、北海道、東北、中国、四国、九州北部、九州南部、沖縄の各地方で例年値を上回りました。最高気温の予報誤差(2～7 日目平均)は、全国平均で例年値よりも 0.4℃小さい 2.0℃で、沖縄で例年値と同じだった以外は、各地方で例年値よりも小さくなりました。また、最低気温の予報誤差(2～7 日目平均)は、全国平均で例年値よりも 0.1℃小さい 1.5℃で、北陸、中国、沖縄を除く各地方で例年値よりも小さくなりました。

(注) 例年値は気象庁HP(予報精度検証)内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

【10 月の週間天気予報の利用にあたって】

秋から冬にかけて日照時間が次第に短くなり、気温も急激に下がっていきます。10 月は晴れる日が多く、行楽の機会も増えますが、気温の変化が大きい時期でもありますので、週間天気予報を利用する際には天気だけでなく、気温にも注意してください。